

## 関西福祉大学の沿革

本学は、「福祉社会をつくる人間を育成する人間教育」と「地域に密着した社会福祉研究の推進」を設置の趣旨として、平成9(1997)年4月、兵庫県赤穂市との公私協力方式によって、入学定員200人、収容定員を800人とする関西で最初の社会福祉学部社会福祉学科の単科大学として開学した。

また、開学から10年目となる平成18(2006)年度に、入学定員80人、3年次編入学定員10人、収容定員340人の看護学部看護学科を設置し、2学部2学科体制となった。

さらに平成21(2009)年4月には大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻(修士課程)を、平成24年4月には大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)を設置した。

平成26(2014)年4月には、入学定員80人、収容定員320人の発達教育学部児童教育学科を、平成29(2017)年4月には大学院看護学研究科博士後期課程を設置した。

平成30(2018)年4月には大学院教育学研究科児童教育学専攻(修士課程)を設置し、発達教育学部を教育学部に改称し、教育学部に保健教育学科を設置した。

学校法人関西金光学園の沿革(ゴシック体は本学の沿革) 年・月	内容
大正15年 2月	私立静徳高等女学校創立
昭和 7年 6月	財団法人浪花高等女学校に名称変更
昭和23年 4月	進修高等女学校、大軌高等女学校、浪花高等女学校の3校を合併し、浪花女子中学校、浪花女子高等学校と改称し、大阪の金光教関係者によって 経営されることとなる。
昭和25年 4月	財団法人浪花高等女学校を財団法人浪花金光学園と改称
昭和26年 3月	私立学校法(昭和24年制定)により学校法人浪花金光学園と改称
昭和57年 4月	金光第一高等学校設置
昭和60年 4月	金光第一高等学校八尾学舎(分校)設置、金光八尾中学校設置
昭和62年 4月	金光八尾高等学校設置(分校を独立校にする)
昭和63年 2月	浪花女子中学校廃止
昭和63年 4月	大阪金光中学校設置
平成 6年 6月	学校法人関西金光学園と改称

平成 8年12月	関西福祉大学（社会福祉学部社会福祉学科）設置認可
学校法人関西金光学園の沿革(ゴシック体は大学の沿革) 年・月	内 容
平成 9年 4月	関西福祉大学（社会福祉学部社会福祉学科）開学
平成11年 4月	設置学校のうち、3校の名称変更 （金光第一高等学校を金光大阪高等学校、浪花女子高等学校を金光藤蔭高等学校、大阪金光中学校を金光大阪中学校とそれぞれ改称）
平成12年 4月	設置学校のうち、金光藤蔭高等学校の全日制課程商業科を廃止
平成18年 4月	関西福祉大学に、看護学部看護学科を設置
平成20年 4月	関西福祉大学社会福祉学部社会福祉学科に、社会福祉専攻、子ども福祉専攻を設置
平成21年 4月	関西福祉大学に、大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻（修士課程）を設置
平成24年 4月	関西福祉大学に、大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）を設置
平成26年 4月	関西福祉大学に、発達教育学部児童教育学科を設置
平成29年 4月	関西福祉大学に、大学院看護学研究科博士後期課程を設置
平成30年 4月	関西福祉大学に、大学院教育学研究科児童教育学専攻(修士課程)を設置 発達教育学部を教育学部に改称 教育学部に保健教育学科を設置